

高校生以下の子どもの5人に1人がスマホトラブルを経験！

子どもを持つ親 4,259 人に子どものスマホトラブルについてアンケートを実施

～トラブルの予防法や実際に起きてしまったトラブルとは～

株式会社アシロ（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：中山博登、東証グロース市場 証券コード：7378）は、ネット関連のトラブルの相談・対応を得意とする弁護士・法律事務所を検索できるポータルサイト「ベンナビ IT」にて、高校生以下の子どもを持つ親 4,259 人を対象として、子どものスマートフォンに関するトラブルの実態について調査を実施いたしました。

アンケート詳細はこちら：<https://itbengo-pro.com/columns/334/>



警察庁が報告した「令和5年の犯罪情勢」（※1）によると、SNSに起因する事犯の被害児童数は令和5年において1,663人となりました。ピークである令和元年の2,082人と比較して減少傾向にあるものの、依然として高い水準といえます。

また、令和4年版厚生労働白書（※2）では、男性雇用者と無業の妻からなる世帯は566万世帯であるのに対し、共働きの世帯は1,247万世帯であり、共働き世帯は専業主婦（主夫）の家庭の倍以上となりました。

共働きが増えている現代社会では、必ずしも親が常に子どもの側にいられるとは限らないことから、子どもにスマホを持たせる選択が増えているのかもしれませんが。

そこで「ベンナビ IT」が主体となり、どれくらいの親が子どもにスマホを持たせ、どのような対策をしているかといった点について、高校生以下の子どもを持つ親 4,259 人を対象として、子どものスマホ事情と、スマホトラブルに関するアンケートを実施しました。

「ベンナビ IT」では、これからもこうした調査を通じて、インターネットやスマホ関連のトラブルが起きた際に、適切な選択肢をとれるような情報を発信してまいります。

※1 [令和5年の犯罪情勢 | 警察庁](#) ※2 [令和4年版厚生労働白書 | 厚生労働省](#)

2024年7月18日

株式会社アシロ

<当調査の利用に関して>

- 1.当調査のデータを引用・転載する場合には、「出典：ベンナビ IT（株式会社アシロ）」の表記をお願いいたします。
- 2.出典元として下記ページへのリンクをお願いいたします。
<https://itbengo-pro.com/columns/334/>

<調査の実施概要>

調査対象：高校生以下の子どもを持つ親 4,259人
調査方法：Freeasyを用いたインターネットリサーチ
調査日：2024年6月28日（金）～2024年7月1日（月）

<調査対象とする家庭の子どもの世代ごとの人数>

小学生未満（1,358人）、小学1年生～3年生（811人）、小学4年生～6年生（793人）、中学生（746人）、高校生（551人） 合計 4,259人
※子どもが複数いる場合は、最も年齢が低いお子さんをご回答いただいています

<調査サマリー>

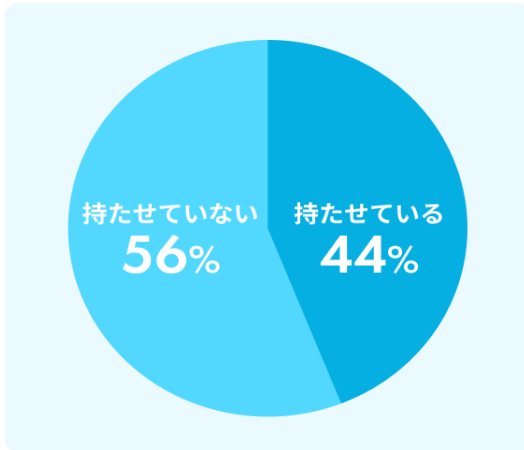
- 高校生以下の子どもを持つ親の44%はスマートフォンを持たせている
- 7割がスマートフォンを連絡手段として持たせており、半数以上の親が子どものスマートフォンに使用に関してルールを決めており、スマートフォン依存を懸念している
- スマートフォンに関するトラブルに子どもが巻き込まれていると回答した親は23.2%（小数点第二位は四捨五入。以下同じ）でありスマートフォンを持つ高校生以下の5人に1人がスマートフォンに関するトラブルを経験している
- トラブルの内容としては「友人間でのSNSいじめ」が最多であり「SNS上で誹謗中傷をされた、もしくはした」が次点であることからSNSでのトラブルが多い

2024年7月18日

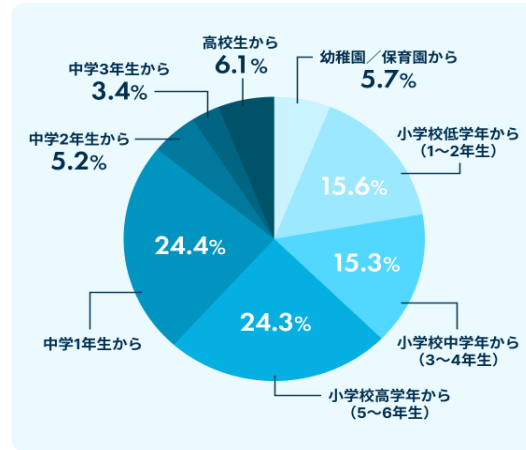
株式会社アシロ

● 4割の親は子どもにスマホを持たせており約半数は小学校高学年から中学1年生のタイミングで持たせていた

Q お子さんにスマートフォンを持たせていますか？



Q いつからスマートフォンを持たせましたか？

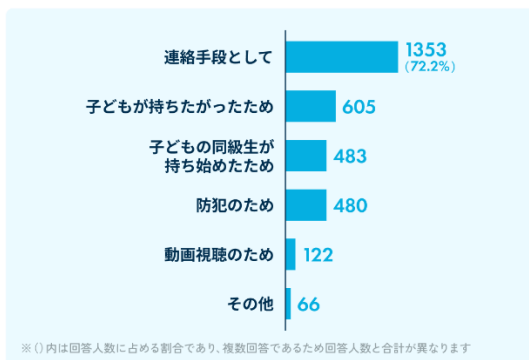


最初に、高校生以下の子どもを持つ親 4,259 人に対して「お子さんにスマートフォンを持たせていますか？」と質問したところ、44%が「持たせている」と回答。半数に満たない数値ではありますが、31.8% (4,259 人中 1,358 人) が小学生未満のお子さんを持つ親であることから、決して低くない数値であるといえます。

続いて、高校生以下の子どもにスマートフォンを持たせていると回答した親 1,874 人に対して「いつからスマートフォンを持たせましたか？」と質問したところ、「中学 1 年生から」と回答した方が 24.4%、「小学校高学年 (5 年生～6 年生) から」と回答した方が 24.3%となりました。合わせて 48.8%と、約半数が 11 歳から 13 歳の間に、子どもにスマートフォンを持たせていることがわかります。

● 7割が連絡手段として持たせており半数以上が使用ルールを決めている

Q お子さんにスマートフォンを持たせたきっかけはなんですか？



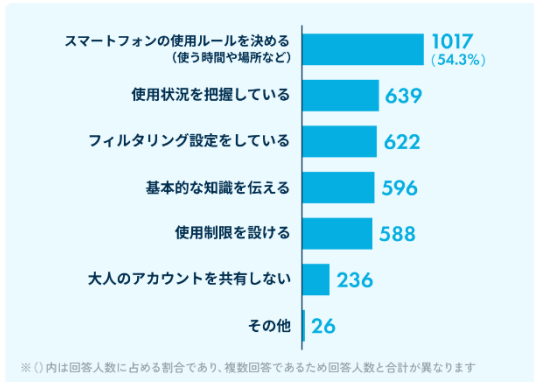
続いて、高校生以下の子どもにスマートフォンを持たせている親 1,874 人に対して「お子さんにスマートフォンを持たせたきっかけはなんですか？」と質問したところ、7割にあたる 1,353 人が「連絡手段として」と回答。

通学や習い事にあたっての連絡や、留守番中の連絡などが想定されます。一方で 605 人は「子どもが持ちたがったため」、483 人は「子どもの同級生が持ち始めたため」と回答しており、親だけではなく子どもや子どもの周囲の状況も影響しているようです。

2024年7月18日

株式会社アシロ

Q **トラブルに巻き込まれないために、気をつけていることはありますか？**

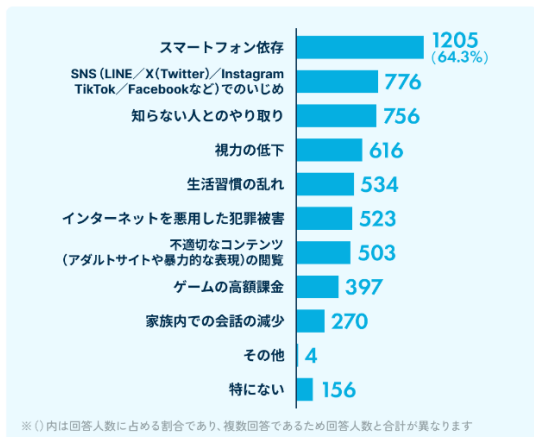


また、同じ方を対象に「お子さんがスマートフォンでトラブルに巻き込まれないために、気をつけていることはありますか？」と質問したところ、半数以上にあたる 1,017 人が「スマートフォンの使用ルールを決める（使う時間や場所など）」と回答しました。

具体的なルールの内容を伺ったところ、「自室では使用しない」、「使用は22時までにする」といった回答があり、親の目の届く範囲で使用する趣旨のルールを決めている家庭があるようです。

● 6割がスマホ依存を心配しており 2割は実際にトラブルを経験している

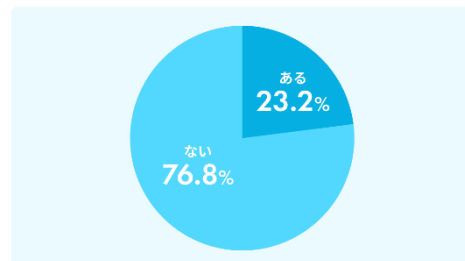
Q **スマートフォンを持たせていて不安に思うことはありますか？**



続いて、高校生以下の子どものスマートフォンを持たせている親 1,874 人に対して「スマートフォンを持たせていて不安に思うことはありますか？」と質問したところ、6割以上の 1,205 人が「スマートフォン依存」と回答しました。

家族とのコミュニケーションが希薄になったり、勉強不足から成績が低下したり、画面の見すぎにより視力が低下するといったリスクを懸念しており、多くの親が子どものスマートフォン依存を心配しているようです。

Q **お子さんがスマートフォンにかかわるトラブルを経験したことはありますか？**

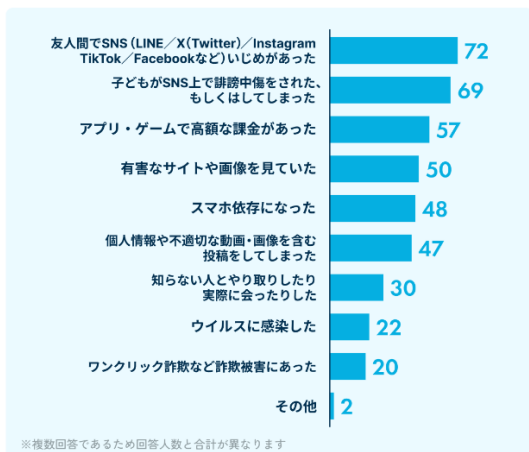


また、「お子さんがスマートフォンにかかわるトラブルを経験したことはありますか？」と質問したところ、23.2%が「ある」と回答。

次項では、子どものスマートフォンに関わるトラブルの具体的な内容を紹介します。

● SNS に関わるトラブルが多く約半数は家族間で相談している

Q お子さんのスマホにかかわるトラブルは、どのようなトラブルでしたか？



前述の調査で「子どもがスマートフォンに関わるトラブルを経験した」と回答した方の中から、無作為に選定した200人を対象として「お子さんのスマホにかかわるトラブルは、どのようなトラブルでしたか？」と質問したところ、72人が「友人間でSNS (LINE、X (Twitter)、Instagram、TikTok、Facebook など)いじめがあった」と回答。

また次点の回答も「子どもがSNS上で誹謗中傷をされた、もしくははってしまった」であることから、SNSに関わるトラブルが多いことがわかります。

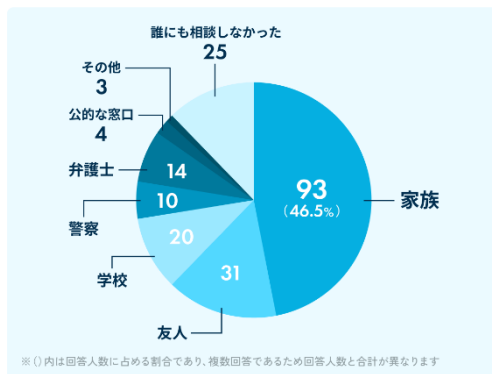
続いて「トラブルについて誰かに相談しましたか？」と質問したところ93人が「家族」と回答。31人が「友人」、20人が「学校」と続き、多くは身内に頼ることがわかりました。

一方で14人は「弁護士」、10人は「警察」、4人が「公的な窓口」と回答していることから、一定数ではあるものの専門知識を持つ相談先を選択していることがわかります。

デジタルタトゥーや、SNS・匿名掲示板といった場でのトラブル解決においては、専門知識を要する発信者情報開示請求といった手続きをする場合があるため、こうした専門家へ相談することは有効な手段といえます。

次項は、一部のご回答いただいたトラブルの、最終的な結果を紹介いたします。

Q トラブルについて誰かに相談しましたか？



◆ トラブルの最終的な結果

- 長時間使用や兄弟間のスマホの取り合いで喧嘩をした本人と、しっかり話しをすることで、親子お互いに納得できる使用ルールを決めた (栃木県・20代・女性)
- フィッシングサイトにアクセスしたのでフィルタを設定した (兵庫県・30代・男性)
- ゲームの高額な課金があったので、購入時にパスワード入力を必須として子どもが自由に課金できないように設定を変えた (東京都・30代・女性)
- SNS イジメについて学校・先生・保護者を巻き込み、話し合いと事実確認の場を設け、謝罪をすることで解決した (神奈川県・30代・男性)
- 一部アプリのブロックと定期的なスマホの確認を約束した (千葉県・40代・女性)

●調査結果のまとめ

核家族や共働き世帯など家庭のあり方の多様化やスマートフォンの技術発展に伴い、子どもにスマートフォンを持たせる家庭は多く、扱い方やルール次第では親子ともに非常に便利なおうえ、安心や安全につながるはずですが、しかしながら、使い方を間違えると子どもにとって悪影響になることもあり、最悪の場合は犯罪に巻き込まれてしまうケースもあるため、十分に気をつける必要があるでしょう。

各家庭でルールを決め、必要に応じてフィルタリングやペアレンタルコントロールを活用して、正しいスマートフォンとの付き合い方を教えるのも、教育のひとつといえるかもしれません。

もしもトラブルに巻き込まれた場合は、身内だけではなく警察や公的な窓口、弁護士としっかりした専門家を頼るのも有効な手段といえます。

「ベンナビ IT」では、これからもこうした調査を通じて、ネット関連のトラブルにあわれている1人でも多くの方が、納得できる適切な選択をとれるような情報を発信してまいります。

■当調査の掲載記事

高校生以下5人に1人がスマホトラブルを経験！子どもを持つ親4,259人を調査！

<https://itbengo-pro.com/columns/334/>

■「ベンナビ IT」について



ネット関連のトラブル解決を得意とする弁護士とユーザーの架け橋となる、国内最大級の法律相談サイトです。名誉棄損や誹謗中傷、開示請求など、さまざまなネット関連のトラブルに対応する弁護士を探して電話・メールで相談が可能。東京/大阪/福岡など全国に対応し、土日/祝日/夜間対応の弁護士も掲載しています。

サイト URL： <https://itbengo-pro.com/>

■株式会社アシロ 概要

- ・代表者：代表取締役 中山 博登
- ・所在地：東京都新宿区西新宿6丁目3番1号 新宿アイランドウイング 4F
- ・資本金：608百万円（2024年4月末現在）
- ・設立：2016年4月
- ・従業員数：128名（2024年4月末時点）※連結子会社を含む
- ・事業内容：



- インターネット上で法律情報や弁護士情報等を提供する「メディア事業」
- 弁護士等の士業や管理部門に特化した人材紹介サービスを提供する「HR事業」
- 弁護士費用の一部を補填する“弁護士費用保険”の販売を行う「保険事業」
- ・サイト URL： <https://asiro.co.jp>